



(姥が平ひょうたん池からの茶臼岳)

県北環境森林事務所の概要

令和6(2024)年4月

管内の概要

はじめに

県北環境森林事務所は、県北東部の5市4町（森林関係は3市2町）を所管し、北西部には高原山・那須連山、東部に八溝山地が連なり、これらの山々から流下する那珂川、箒川に挟まれた広大な那須野ヶ原扇状地は、平地、台地、盆地、丘陵地等様々な地形を形成し、豊かな自然環境を創り出しています。

管内の日光国立公園「那須・塩原地域」は、優れた自然景観に恵まれ、四季を通じ自然とのふれあいを求める多くの人々が国内外から来訪しており、東部の那珂川沿いは、県立自然公園(八溝・那珂川)に指定されるなど、里山の美しい景観と豊かな生態系が育まれています。

一方、野生鳥獣による農林業等被害が拡大しており、大型獣類の捕獲や防除に併せて、獣害に強い地域づくりによる環境整備に取り組んでいます。

生活環境は、管内に産業廃棄物安定型最終処分場が多数設置されており、廃棄物の排出抑制や適正処理を推進するとともに、工場・事業場における公害の未然防止等を進めています。

森林関係所管の3市2町の森林面積は97,751ha(林野率約58%)で、うち民有林が63%を占めています。北部は公益的機能を高度に発揮する天然林が多く、東部の八溝地域は人工林の割合が高く、特に大田原市は人工林率78.1%と県平均(44.3%)を大きく上回っています。

人工林の多くは成熟期を迎えています。

災害に強い森林づくりや間伐等の整備に加え、皆伐施業の促進により森林資源の循環利用を進めています。

また、平地林や丘陵地には、コナラやクヌギ等の広葉樹が多く、これらの原木を活用したシイタケ栽培が盛んに行われていました。東日本大震災による原子力発電所事故以降、放射性物質汚染の影響で出荷制限や地元原木が使えないことなどにより、生産者数は減少してしまいましたが、意欲のある生産者が、汚染されていない他県産の原木等によりシイタケ栽培に取り組んでいます。

※ 当所管内は赤線で囲った5市4町
うち森林関係は青色の3市2町



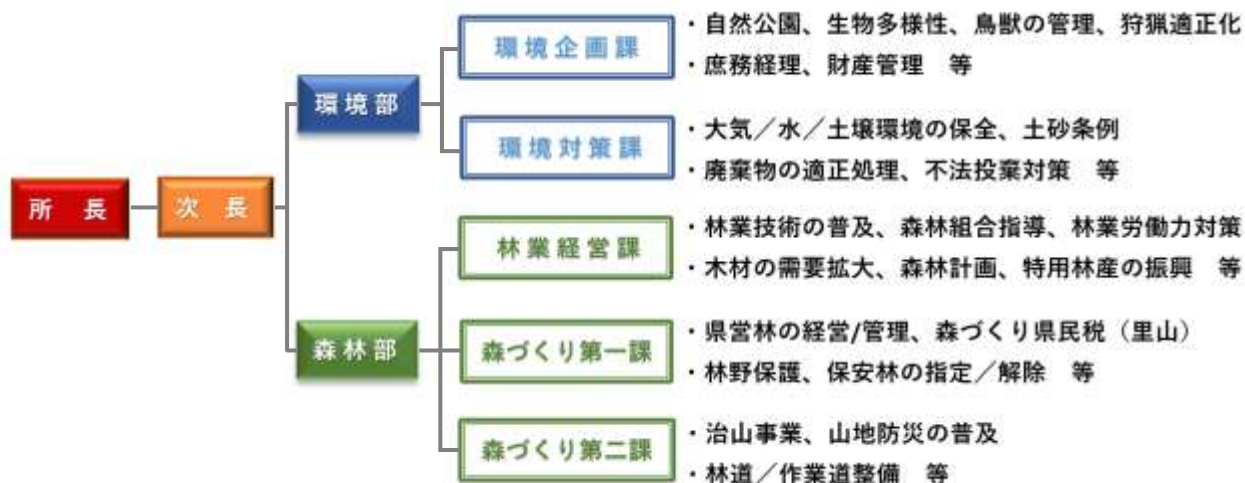
管内の森林現況

	土地面積 (ha)	森林面積 (ha)	林野率 (%)	民有林面積 (ha)	民有林率 (%)	人工林面積 (ha)	人工林率 (%)
大田原市	35,436	15,259	43.1	12,229	80.1	11,919	78.1
那須塩原市	59,274	38,406	64.8	13,449	35.0	8,942	23.3
那須烏山市	17,435	8,087	46.4	7,764	96.0	3,798	47.0
那須町	37,234	23,655	63.5	18,304	77.4	9,290	39.3
那珂川町	19,278	12,344	64.0	9,776	79.2	8,063	65.3
管内合計	168,657	97,751	58.0	61,522	62.9	42,011	43.0
栃木県	640,809	347,822	54.3	220,095	63.3	154,082	44.3

※ 森林面積等は令和5(2023)年「栃木県森林・林業統計書」による / 土地面積は県HP(令和5年10月1日現在)による。

※ 数量はすべて単位未満を四捨五入しているため、個々の数字を合計しても総数に一致しない場合がある。

組織及び業務分担



Topic

特定外来生物及びクマ被害対策

令和5年7月、特定外来生物に指定されているクビアカツヤカミキリ、同年8月にはツヤハダゴマダラカミキリによる樹木被害が、当事務所管内ではじめて確認されました。被害の拡大を防止するため、関係市町と連携して被害木の伐倒駆除等を実施しました。

また、ツキノワグマによる人への加害事例が全国的に問題となる中、令和5年11月には当事務所管内でも人身被害(犬の散歩中に遭遇し背後から覆い被された)が発生しました。野生獣類による被害防止のため囲いわなによる捕獲など、適正な保護管理に取り組んでいます。



クビアカツヤカミキリ



ツヤハダゴマダラカミキリ
(林野庁HPより)



ツキノワグマ

守り・育て・活かす 環境立県とちぎ

大沼園地と新湯富士

良好な生活環境の保全



異常水質事故への対応（オイルマットの設置）

廃棄物適正処理及び 資源循環の推進

廃棄物処理法等に基づく許可事務、産業廃棄物処理業者等に対する立入検査、排出事業者や不法投棄の行為者等への指導を行い、廃棄物の排出抑制や適正処理、資源循環を推進し、環境の保全を図っています。

大気・水・土壌等 環境の保全

公害関係法令に基づく届出事務や工場・事業場への立入検査、異常水質事故への対応等を行い、公害の未然防止及び環境の保全を図っています。



立入検査による指導



廃瓦を破碎し、再利用

人と自然との共生

自然公園の保護と利活用

自然公園の豊かな自然を保護しつつ、歩道や園地などの公園施設を整備し、安全で快適な自然とのふれあいの場を提供しています。



ちゅうすだけ
茶臼岳とミネザクラ（5月下旬）



やはた
八幡つつじ群落（5月下旬）



ほうこうへきれき
咆哮霹靂の滝

生物多様性の維持保全

豊かな自然環境を次代へ引き継ぐため、自然環境を大切にする意識を高め、県民との協働により生物多様性を維持保全しています。



調査のため捕まえたミヤコタナゴ



ミヤコタナゴ生息状況調査



狩猟免許試験の様子



大型囲いわな

野生鳥獣の適正な保護管理

鳥獣の適正な管理を推進し、農林水産業や生態系への被害防止を図るとともに、希少動植物の保護に努めています。

とちぎの元気な森を 100年先の未来へ

スギの壮齢林

林業・木材産業の産業力強化

素材生産力強化

施業規模の拡大、造林・保育等初期投資のコストダウン、現場で運用する林業機械の複数化・大型化、新技術の導入等による素材生産の効率化等を促進します。併せて、持続的・計画的な林業経営の確立に向け支援し、間伐・皆伐の施業バランスを図りながら、素材生産力の強化を進めます。



ハーベスタによる伐倒



タワーヤーダによる集材



皆伐地に植栽されたコンテナ苗

Topic

八溝材 (やみぞざい)

栃木県北東部に位置する八溝山系は、江戸時代から続く古い林業地です。八溝山系から生産される木材は「八溝材」と呼ばれ、素性の良さから木材業界で高い評価を得ています。

林業・木材産業の産業力強化



森林から搬出される原木

木材の安定供給体制の構築

川上から川下の関係者が連携した原木の安定取引協定締結など、とちぎ材を安定供給するシステム構築を促進しています。



木材共販所の原木



製材されたとちぎ材

集約化・複合化に応じた路網整備

施業地の集約化・複合化に応じた、スケールメリットを活かせる路網計画・規格の検討を行い、路網整備を進めています。



皆伐・再生林に活用される森林路網（大田原市南方）



森林作業道の開設



プロセッサによる造材

特用林産物の競争力強化・生産振興・放射性物質対策

生産技術の向上、GAP*の取組拡大及び県内原木林の再生等により、安全安心な特用林産物の生産、市場競争力の強化を図っています。



菌床栽培のしいたけ



わさび



ほだ木の放射性物質対策

*GAP(Good Agricultural Practice):農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組

森林の公益的機能の高度発揮



深山ダムと水源涵養保安林

保安林の指定推進

私たちの暮らしを守るために特に必要な森林を保安林に指定し、伐採を制限したり、適切に手を加えるなど期待される働きを高度に発揮できるよう必要な管理をしています。



適正管理された森林



看板の設置

森林病虫害防除対策

マツ枯れなどの森林病虫害による被害を低減するため、薬剤の地上散布、伐倒駆除や樹幹注入等の対策を講じています。



伐倒駆除（燻蒸）



樹幹注入



地上散布（那須町）

県営林の経営

県営林は、県土保全及び財産造成を目的に県が森林の保育を行うもので、森林資源の培養、森林生産力の向上、経営の合理化に努めています。



収穫（大藤沢Ⅱ県営林）



収穫（米沢Ⅱ県営林）



保育間伐（上南方県営林）

森林の公益的機能の高度発揮

県民の生命や財産を守るため、災害による荒廃山地の復旧や危険度の高い箇所の予防対策等、治山対策を行います。



災害発生時の状況 (那須町 明神)



山地災害の復旧



復旧工事の完了状況 (那須町 明神)

山地防災知識の普及啓発

自然災害により被災した森林の復旧や土砂災害の未然防止及び防災意識の普及啓発のために、小学生を対象に防災講習会を開催しています。



パワーポイントによる説明



模型による実験



土石流対策模型

山火事予防意識の啓発

山火事が頻発する春期に予防運動を実施し、山火事への予防意識の啓発を図っています。



山火事予防ポスター



山火事防止デーにおける普及啓発活動



横断幕掲示 (南那須庁舎)

森林・林業・木材産業を支える 地域・人づくり



高校生の林業体験

次代を担う林業人材の 確保・育成

多様化・増大する木材需要に対応するためには、林業・木材産業を支える人材の確保・育成・定着を進め、労働力の不足を解消することが必要です。そのため、新たな人材育成の体制整備や林業就業者を取り巻く環境の改善を図り、林業を魅力ある産業へ押し上げ、“次代を担う人材”を確保・育成していきます。



高校生向け林業就業セミナー



VRを活用した労働安全講習

Topic

木質バイオマスの活用

栃木県では、木質バイオマスのマテリアル利用（建築用材等）からエネルギー利用（発電・熱）に至るカスケード（多段階）利用を推進しています。当事務所管内には、2,500kWクラスの木質バイオマス発電所や大型の木質バイオマスボイラー施設があり、地域に電気や熱を供給しています。

さらに、発電所やボイラーの廃熱を利用して、マンゴーやコーヒー等の栽培、ウナギの養殖などが行われており、地域の雇用創出・経済の活性化につながっています。



木質バイオマス発電所（那珂川町）



ボイラーの廃熱を活用したマンゴー栽培（那珂川町）

未来技術を活用した産業への進化



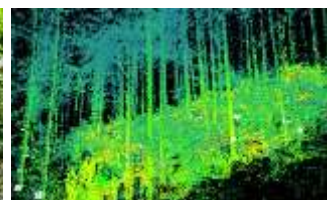
ドローンによる薬剤散布

スマート林業の推進

記憶や経験に頼る林業から、未来技術を活用したスマート林業へ進化を図り、労働負荷の軽減、生産性・安全性の向上を目指しています。



ラジコン式下刈機



森林の三次元計測

Topic

スマート林業

未来技術が実装されたスマート林業の姿（理想像）



参考資料) 林野庁「スマート林業の実践事例！」



那須庁舎全景（令和5（2023）年3月供用開始）



八溝杉を用いた1階の情報コーナー（ラック、ベンチ）

〒324-0041

栃木県大田原市本町2丁目2828-4 栃木県庁那須庁舎5階

栃木県県北環境森林事務所

環境部

環境企画課 TEL:0287-23-6363

環境対策課 TEL:0287-22-2277

森林部

林業経営課 TEL:0287-23-6365

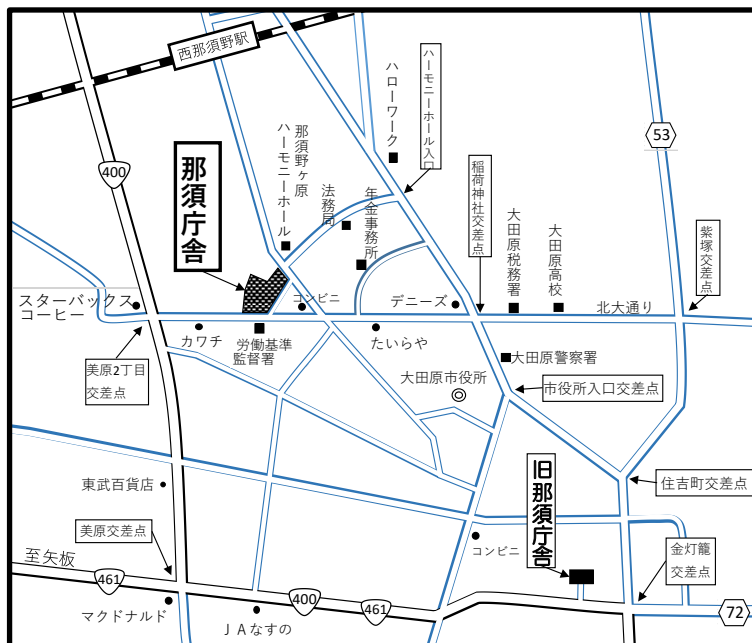
森づくり第一課 TEL:0287-28-9071

森づくり第二課 TEL:0287-28-9072

FAX：0287-23-6366

HP：https://www.pref.tochigi.lg.jp/d53/index.html

Email：kenhoku-ksj@pref.tochigi.lg.jp



【表紙写真】
日光国立公園 那須地区
（姥が平ひょうたん池
からの茶臼岳）